

校名「八戸学院ひばり野西」



新校名が「八戸学院ひばり野西」に決まり、パネルを手にする
法官新一理事長（右）と若宮佳一町長＝29日、五戸町

八学野西高、五戸高跡移転で

東京ハイジが校歌、校章制作

2024年4月の開校を目指し、旧青森県立五戸高跡地へ移転する計画の八戸学院野辺地西高（野辺地町）について、運営する学校法人光星学院（八戸市）と誘致を進める五戸町は29日、同町内で記者会見を開き、移転後の校名を「八戸学院ひばり野西」とすることを明らかにした。校歌の作詞作曲と校章のデザインは、同町出身の姉妹クリエイターユニット「東京ハイジ」（神奈川県在住、姉ササキトモコさん、妹ササキワカバさん）が手がける。

【18ページに関連記事】

校名の選定に当たっては、6月に「旧五戸高への移転・開設準備室」の委員12人が考えた35案から、委員の投票で13案に絞った。その後、野辺地西高の外郭団体や五戸町内の中学生から意見を聞くなどし、法官新一理事長と若宮佳一町長が最終決定した。

名称には、50年以上「野西」として歩んできた歴史を継承した内容を意識。記者会見で法官理事長は「ひばり野」は五戸町の象徴的な地名。ヒバリが天高く舞い上がるように発展してほしいという思いが込められている」と説明した。

若宮町長は「ひばり野公園サッカー場は、あすなろ国体でサッカー成年男子の会場となり、ヴァンラーレ八戸のJFL時代のホームでもあった。町にとって『聖地』が含まれた校名となり、うれしい」と述べた。

東京ハイジは町のPRキャラクター「五戸のおんちゃん」もデザイン。学院側が校歌と校章の制作を依頼し、快諾を得た。主にトモコさんが校歌の作詞作曲を、ワカバさんが校章イラスト、デザインを担当するという。

開校手続きに関し、学院側は26年1月末までにカリキュラムなどをまとめた設置計画書を県に提出し、認められれば同5月末までに設置認可申請書を提出する流れになると説明した。

今年10月中旬にカリキュラムをとりまとめ、11月末に予定する法人内の会議で承諾を経て、設置計画書の提出にこぎ着けたい考え。設置認可申請書を提出後、正式に新校名での広報活動が可能になる。

新たに整備する寮とサッカー場について、法官理事長は「準備は順調だが、詳細は近く公表する」とした。校長や部活動の体制、サッカー部の監督・スタッフなども、来年度の早期に順次発表するという。

（田村純也）